

## 自衛隊のPRに協力したい

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎一陸尉）は、11月28日（金）、雑誌MAMOR（マモル）12月号に掲載された、「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」に危機感を覚えたとして、横浜市中区で不動産業等を経営する方の訪問を受けた。

内閣府が平成23年に全国の20歳以上の3,000人を対象に行った世論調査では、約84%の国民が「日本が外国から侵略された場合、何らかの方法で戦う、または抵抗する」と回答している。マモルが同じ質問を20、30代の方々に聞いてみたところ、20代で42%、30代で52%に止まる結果であった。この調査結果に、「今後の日本に不安を感じる」、「若者たちには日本の防衛についてもっと興味を持って欲しい」と語り、「自分が所有する看板（数百ヶ所）を使用し、自衛隊をPRして欲しい」という申し入れがあった。また、「是非、自衛官募集相談員になり、自衛隊のために活躍したい」とも話された。

横浜中央募集案内所は、「地元の方の申し入れをしっかりと受け止め、適切に対処する」とコメント。

## ショッピングモールに募集ポスターを掲示

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 縣一陸尉）は、12月1日（月）、ショッピングモール「アピタ」（横浜市港北区日吉）内の掲示板に、自衛官募集ポスターを掲示した。

ポスターの掲示が叶った経緯は、以前、地元商工会議所主催のイベントに広報ブースを出展し、災害派遣活動の写真パネル等を展示した際、自衛官の献身的な活動に感激した「アピタ」関係者が、「私たちにも何かできないか」「自衛隊のポスターを店内に掲示してみても」という提案によるもの。「アピタ」には、毎日たくさんの買い物客が訪れるため広報効果が期待できる。

横浜出張所は、「今後も、地域の方々の協力を得ながら、自衛隊をPRして募成果につなげていきたい」としている。



掲示された募集ポスターと「アピタ」副店長の香島氏

## 中部航空方面隊司令官から感謝状授与

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）の募集相談員（井川氏）が、12月4日（木）、中部航空方面隊司令官から感謝状を授与された。

井川氏は、航空自衛隊になじみが薄い厚木募集案内所管内における航空自衛官の募集協力に対する功績により表彰されるものである。

厚木募集案内所は、「今後も、協力団体との連携を深め、募集活動を活性化させつつ、目標達成に邁進していく」としている。



井川氏と司令官